

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放デイ）

事業所名 きりんのあくびkidsみと

公表日 令和 4月 7日

利用児童数 29

回収数

25

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	3		1		ワンフロア式の事業所のためスペースを区切る必要があるため、必要に応じてマットやパーテーションで室内を区切っている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	3		2		職員を増員し配置確保に努めている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	2		3		室内は大人用の設備となっているが踏み台や視覚教材を用いてバリアフリー化に努めている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1		2		生活プログラムとして子どもたちと室内の清掃活動を毎日行っており、清潔に努めている。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1				事業所内でサポート会議を行い個々の特性にあった支援を職員間で連携して実施できるよう共通理解をしている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23			2		今年度からHPにて支援プログラムを公表しており、それに沿って支援内容を決めるようにしている。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22			3		定期的に保護者面談や電話で相談支援を行っており、保護者や子どものニーズ理解に努めている。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	2		1		移行支援については保護者の要望により、就学や進級に合わせて関係機関との連携を検討していく。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	2		2		計画を元に支援内容を計画し、提供するようにしている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1				一か月のプログラムを設定する際には様々なプログラムを取り入れられるよう指導員間で話し合いながら設定している。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	5	9		戸外活動や地域のイベントなどで地域の子どもたちと一緒に活動する機会を設けている。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24			1		利用開始時に運営規定等のご説明を行っている。今後も利用者の方々にわかりやすい形でご説明が出来るよう努めている。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	2	1	2		支援内容については計画に基づき面談等で家庭のニーズ把握をしながら説明を行っている。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1	6	6		ペアレント・トレーニングなどは行っていないが、保護者の要望により検討していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	24	1				送迎時や電話など、保護者とコミュニケーションがとれる場で健康状態や発達状況について情報共有が出来るように努めている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	5	1	1		定期的に面談や電話相談を行っているとともに、送迎時などに保護者から相談があった場合は必要に応じて助言を行っている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1				常に児童の気持ちに寄りそうことを第一にしながら課題に向けて支援を出来るように努めている。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	5	4	10		父母会や利用者以外のきょうだい支援等は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16		1	3		事業所の相談窓口は管理者および管理責任者が対応することとなっている。保護者の皆様にお便りなどでわかりやすい形で周知できるよう努めていく。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1		1	保護者の環境等を考慮し、伝達ツールを考えたり言語表現を工夫したりしている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18			7	月1回お便りを発行してる。また事業所のホームページ・ブログ・Instagramを開設し、日々の支援や活動の様子を発信している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1		1	契約時の説明に沿って個人情報の取扱いに留意し、書類や写真などを取り扱っている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1		4	保護者向けのマニュアルは作成していないが、利用契約時に対応についてご説明を行っている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1		6	年2回避難訓練を実施している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	3		2	避難訓練を行い、非常時の安全確保の仕方を指導員間で共有した上で支援を行っている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	1		1	安心安全にご利用いただけるよう連絡体制の強化に努めていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	1			人的環境、物的環境を共に整え、安心して通所して頂けるよう努めていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25				引き続き、楽しんで通所して頂けるように精進していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25				引き続き、ご満足いただける支援の提供を目指していく。